

令和4年度第2回 北海道中山間地域等直接支払制度検討会（現地調査）

【概要】

蘭越町

- (1) 日時 令和4年10月17日（月）13:20～14:00
(2) 出席者 検討会5名（岡田様、近藤様、志村様、丸山様、山梨様）
集落協定代表2名、町4名、道協議会2名、
後志振興局2名、農政部農村設計課5名

[現地調査] 黄金営農集落（水田・急傾斜地、緩傾斜地）

（集落の農作業共同機械の利用状況について）

- 田んぼの区画は、小さいほ場で10～20aで基盤整備を行ったほ場は10ha強となっている。
- 共同利用農機具の専用車庫で鍵がかかるようになっている。使用者は管理者に連絡し、使用後は燃料満タン返しとなっている。
- 14戸の農家で使用しているが、機械利用の競合はない。
- 春先は雪が2m以上にも積もる場所があり、共同の散布機により融雪剤を撒けば効果は高い。作業効率がよいところでは1戸当たり1時間ほどで終わる。
- 防除のドローンの操作は、会長と管理者の2名で行っている。機械のリース代、免許代は共同取組活動から支払っている。以前と比べて防除のスピードは10倍違う。一日で10ha、全体で5日でできる。
- 水はけの具合は、ほ場によって異なる。溝切り機は、水のたまるところでの使用頻度が高い。整備を行っても土質で水はけが違う。

（地域資源の共同保全活動について）

- 集落全戸が協定に入っている。役場の調整により話し合はスムーズにできている。
- 水系はニセコアンヌプリからの山の水。水利権があり土地改良区に経費を払って管理している。
- 排水路の管理は、5年間で分けて行っている。

（営農について）

- 刈り取り作業は個別に行っている。水田の一番高いところは100m。品種はゆめぴりか3割、ななつぼし7割。

[現地調査] 上里集落（水田・急傾斜地、緩傾斜地）

（地域資源の共同保全活動について）

- 水路の素掘りを徐々に改修している。工事は自分達で行っている。
- 美化活動として、2kmほど離れた公民館に花壇を設置している。
- 集落協定には、集落全戸は参加していない。
- 転作田は100%水張りできる。

[意見交換会]

(集落機能強化加算について)

- 第5期対策から新しく制度化となった集落機能強化加算で単身高齢者住宅の見回りや雪かきなどに取り組んでいる。地域ごとに神社があり年に1～2回集まっていたが、だんだん出席率が少なくなっていた。この加算がきっかけとなり昔からある地域を守ろうという意識が強くなり、この集落がなかったら自分たちもいなかったという考え方で取り組んでいる。

(集落協定広域化加算について)

- 黄金集落と昆布高台は昔から横の繋がりがあり、広域加算がきっかけで一緒にドローンの共同利用に取り組んでいる。

(耕作放棄地について)

- 今段階で耕作放棄地はなく、皆の協力を得て維持管理している。昔土地を開拓してくれた人の思いや後継者がおり、維持している。

(検討会からの意見、感想)

- 地元だけの人数だけで足りればいいが、もし志のある人がいれば、所在地が違ってても参画するというのはどうか。
- それぞれの集落の物語が生かせる街づくりにこの対策が生かせたらいいなと感じた。
- 人同士のつながりがうまくいっていると感じた。若い世代は自分より上の人達が楽しそうに幸せそうにやっていると、自分達もあういう風になれると見てると思うので、お年寄りに親切な大人達を見ていると安心する、心の安定に繋がると思う。
- 北海道だけでなく全国に蘭越米のブランドを知ってもらう施策を考えた方がいいのではと思った。持続可能な農業を確立するために、ドローンだけでなくほ場監視カメラなども安くなっていると聞いている。そういうところにこの交付金を使っていくことも考えて頂ければと思う。
- 制度を研究してブランドづくりもいいし何かできるのではないかと。ニセコも近いし、環境もいい、山を見ただけで非常に景観もよい。地元でいろんなことにチャレンジしてほしい。今だとクラウドファンディングとかいろんなものがある。やれる余地はまだまだいろいろある、楽しみな地域だと思った。

(黄金营农集落)



(上里集落)



(意見交換会)

